

2019年 新春からダッシュ!



日本共産党区議団は1月7日、池袋西口で街頭宣伝を行いました。安倍政権の暴走、特に消費税の10%への引き上げストップ、憲法9条改憲NO、沖縄辺野古基地建設反対、原発ゼロを目指して頑張ります。また区政では、高すぎる国民健康保険料の引き下げや要望の強いコミュニティバスの実現に全力をあげます。

第1回定例区議会が2月13日から始まります。この議会では2019年度予算や国民健康保険料の値上げなどの議案が審議される予定です。

19年第1回定例会予定

2月4日(月)	予算内示会
2月7日(木)	請願・陳情締切
2月13日(水)	本会議(初日)
2月19日(火)、20日(水)	一般質問
2月22日(金)	総務委員会、区民厚生委員会
2月25日(月)	都市整備委員会、子ども文教委員会
2月26日(火)、27日(水)、28日(木)	予備日
3月1日(金)～3月18日(月)	予算特別委員会
3月22日(金)	本会議(最終日)

第1回定例会が始まります

18年第4回定例区議会

コミバス、学校体育館のエアコン設置、入学支度金(就学援助)の拡充

区民要求実現に全力

日本共産党

第4回定例会は11月20日から12月10日の日程で行われました。

一般質問は、渡辺くみ子議員、清水みちこ議員が行い、消費税増税や憲法9条改憲など国政に対する区長の政治姿勢や区民要求実現についてたずねるとともに、住民不在の大型開発を追及しました。(2面参照)

コミュニティバスの実現を求める陳情は5000人を超える署名とともに提出され、日本共産党は採択を求めましたが、継続審査になりました。また、日本共産党は区が提案した16件の議案

について11件は賛成し、池袋周辺の人を呼び込む街づくりに巨額の税金をつぎ込む議案など5件に反対しました。(3面参照)

補正予算では、日本共産党区議団が要望していた全小中学校体育館へのエアコン設置や入学支度金(就学援助)の増額が盛り込まれ、全会一致で可決成立しました。また、「手話言語の普及及び障害者の多様な意思疎通の促進に関する条例」は聴覚障害者協会から強い要望の出されていた手話言語と、合わせてその他の意思疎通を一体とした条例であり、全会一致で可決成立しました。

区民の生存権を保障する区政を

渡辺くみ子議員が一般質問



区長の政治姿勢について

憲法9条改憲について、消費税10%の増税について、国民に新たな負担増を招き給付を大幅に下げる国の「社会保障制度改革」についての三点に反対を表明するよう求めました。

区長は現憲法を遵守し区政を推進すると答弁。しかし消費税10%導入、社会保障制度の改悪については「反対はしない」と答弁しました。

来年度予算編成について

豊島区では住民税所得階層200万円以下非課税と合わせると29万人区民のうち76%です。就学援助を受けている世帯は小学校では14.5%、中学校では27.2%と4人に1人となっており、区民生活は厳しい状態が続いています。

渡辺議員は区民生活の実態と打開の必要性の認識と対応について区長に質しました。区長は「実態は認識している」「低所得者対策は実施している」と答弁。また、渡辺議員が不要不急の池袋駅周辺への多額な投資ではなく区民需要への予算を大幅に増やすことを求めたところ、区長は「投資は高い水準で推移するが、区民需要の充実も最優先にしている」との答弁を繰り返しました。

ところが、国民健康保険料について、高すぎる保険料を下げるため区独自の軽減策を求めたところ、区長は拒否しました。

住民主体のまちづくりを南池袋2丁目C地区について

渡辺議員は、51階建て2棟を建設するとしている南池袋2丁目C地区の再開発事業計画に対し、「商売を続けたい」「戸建てに住み続けたい」「新しいマンションでは管理費は払えない」「今後のことが不安」等、反対や不安の声が上がっている中で計画を進めていることは問題と指摘し、全ての地権者が納得のいくまちづくりをすべきと追及しました。しかし区は「開発に不安を抱える区民には丁寧な説明を行ってきた」「今後も準備組合に対し、丁寧に向き合い納得できるよう公平公正の立場から指導・助言する」との答弁を繰り返しました。

東池袋4・5丁目について

渡辺議員は東池袋4・5丁目地域での2か所の再開発事業、補助81号線道路建設、176号線道路建設、都市づくり公社による14階建て共同化マンション建設、造幣局跡地の防災公園建設等の工事、保健所移転問題等、住民への十分な説明もなく一方的に進めている実態を示し区に対応を強く求めました。区は「関連事業者間の調整会議等で住民負担を軽減するよう努力する」「都市づくり公社は計画の見直しを行っており、住民の要望等を十分聞くよう指導していく」と答弁、また保健所移転問題に関しても1月に説明会を開催するとしました。

区民生活を直視し、命と暮らしを守る区政に転換せよ

清水みちこ議員が一般質問

住宅施策について

清水議員は現在、策定中の「豊島区住宅マスタープラン」について質問しました。まずこれまであった「公営住宅等の新規供給数」が削除されたことを指摘。区民が求めているのは良質で低廉な家賃の公営住宅であることから、区民需要に基づく供給計画を示すよう求めました。これに対し区は「新規供給数を示すことはなじまない」と拒否しました。

また高齢者、ひとり親家庭などが立ち退きを余儀なくされた際の「安心すまい提供住宅」は空室53室のうち、38室が未修繕ですぐに入室できる状況になっていません。清水議員がただちに修繕するよう求めたのに対し区は「できる限り来年度に予算化し、修繕していく方向で検討」と答弁しました。

子育て支援、子どもの貧困対策について

次に清水議員は、子育て支援について3点にわたり質問しました。

これまで清水議員は「必要な額を必要な時期に」と就学援助・入学支度金の拡充を求めてきた結果、来年度(2019年度)から中学校7万9,500円、小学校6万3,100円に増額、入学前支給も小中学校揃って実施(中学校は2017年度から実施)と前進したことを評価。まだ不十分な就学援助の卒業アルバム代、中学校クラブ活動費などの増額を求めたのに対し、区は「増額は考えていない」と冷たく拒否しました。

障がい者施策について

また多子世帯への給食費補助、子どもの医療費を18歳まで無償化するよう来年度予算に盛り込むべきと質したのに対しても「盛り込む予定はない」と子育て世代の願いに背を向けました。

目白福祉作業所・生活実習所の通所バスの運行、増便について、親の会、利用者から切実な要望が出されており、区議団へも相談が寄せられています。区長はこれまで「障がい者施策は重要な施策」「できる限りスピード感をもって対応していきたい」と答弁していることから、ただちに予算化することを求めました。しかし区は「指定管理者の更新時の2020年度から、バス増便を含めた総合的な対応を検討している」と先送りしました。

コミュニティバスの早期実現について

コミュニティバス実現を求める声は日増しに高まっており、本定例会にもコミュニティバスを走らせてほしいという陳情が5,000人を超える署名とともに提出されました。清水議員が「区長は区民の願いに応え、コミュニティバスを走らせる方向で考えているのか」と質したのに対し、区長は「走らせる方向で考えている」と表明しました。



常任委員会の審査

総務委員会

大企業のための池袋西口公園改修整備工事契約に反対



清水議員



儀武議員

池袋西口公園改修整備工事請負契約について、総務委員会で審査されました。

高野区長が進めている池袋を中心とした開発に呼応し、池袋西口公園は来街者を増やすために改修、総事業費26億4,600万円、飾りにすぎない巨大リングに5億8,000万円もかけるものです。

「他に類を見ない劇場公園」にするため巨大リングをはじめ大企業にしかできない工事となり、基本計画、設計等はプロポーザルで池袋西口再開発の事業協力者である三菱地所の関連企業、本工事は随意契約で大成建設が請け負います。

儀武・清水議員は「他の公園整備と比べ工事費が巨額」「巨大リン

グはやめるべき」「完成後の経費も膨らむ可能性がある」ことを指摘。大企業本位の工事はやめるべきだと反対しました。

電気バスの買入れに反対

電気バス7台を2億1,800万円余で、随意契約で買入れする議案が総務委員会で審査されました。

当初、1台2,000万円余で10台買入れする予定でしたが、1台3,116万円に膨れ上がったために7台になりました。

しかも、区は、運行経費は運賃収入で賄うと言っていましたが、運賃が100円の場合、年間1億6,000万円の赤字になり、税金投入をせざるを得なくなりました。

儀武・清水議員は「電気バスは、区民の生活の足でなく、池袋駅周辺と4つの公園などに来街者を呼び込むためのものである。区民は電気バスよりコミュニティバスを望んでいる。電気バスは無駄遣い」と指摘し議案に反対しました。

区民厚生委員会

証明書の自動交付機を昨年末に撤去進まぬマイナンバー普及を優先し、区民サービスを低下させる議案に反対

区内に10台あった証明書の自動交付機を昨年12月末に撤去する議案(印鑑条例の一部改正)が区民厚生委員会(渡辺委員長)で審査されました。理由は、今年1月から区役所と東・西部区民事務所にマイナンバーカードを使用する発行機を設置し、全国のコンビニでも交付できるようになっているからというものです。



渡辺議員



森議員

以前から森議員は「進まないマイナンバーカードを増やすための強行策だ」と反対してきました。委員会審査でも「自動交付機で使用する区民カード12万枚超の発行に対し、マイナンバーカードは5万枚程度しか発行されていない」と指摘。しかもマイナンバーカードが無ければ窓口に行かなければならず、手数料は自動交付機300円に対し、窓口400円になります。

森議員は「カードを持ち歩くと盗難・紛失のリスクがあり個人情報流出につながる。区民サービスを低下してはならない」と反対しました。

都市整備委員会

「コミバス走らせて」の陳情は自民、公明、民主ネット、都民ファースト、虹としまが継続審査に

豊島区にコミュニティバスを走らせることを求める陳情が、都市整備委員会で審査されました。豊島区にコミバスを走らせる会から5,131名の署名を添えて提出されたものです。

陳情は、高齢化が加速し、買い物や病院、公共施設など様々な用事で外出するのに、交通不便地域もあり、他区が導入しているコミュニティバスをぜひ豊島区でも実現してほしいという内容です。

かきうち議員の質問に対し、区長は「時期はともかく、方策を考えながら最終的にはコミュニティバスを走らせて区民の要望に応えていく」「あらゆる角度で検討し、あきらめずに進める」と答弁し、日本共産党のほか無所属議員が採択を主張しました。ところが、自民党、公明党、民主ネット、都民ファーストの会、虹としまは、区民の願いに背を向け、多数で継続審査にしました。



かきうち議員

子ども文教委員会 新ホールの指定管理者の指定に反対



小林議員

旧庁舎跡地に建設中の新ホール(芸術文化劇場)の管理を行う指定管理者の指定についての議案が子ども文教委員会で審査されました。小林議員は、「新ホールは利用料が高くて区民が使えない」「豊島区としても成人式など年10日程

度の利用であり区民のための施設ではなく、興業が中心で外から人を呼ぶ来街者のための施設である」「指定管理料も当初年間2億7,500万円とされていたが、3億円以上になり、赤字が増え続ける」として、議案に反対しました。

2019年度予算要望申し入れ 国保料の引き下げ等を求める 緊急申し入れ

2つの区長申し入れ



18年12月17日に区長に対し、2019年度予算について申し入れ

来街者のためのまちづくりでなく、 区民の暮らし福祉優先に

2018年12月17日、日本共産党区議団は区長に対し2019年度予算要望申し入れを行いました。区議団は区内の各層・団体と懇談を行い、535項目の要望項目にまとめました。

国保料引き下げすべき

19年1月15日、区議団は「区民が安心して医療が受けられるよう、2019年度の国民健康保険料の大幅値上げに反対し引き下げ等を求める緊急申し入れ」を行いました。

昨年区議団が行った区政アンケートの回答でも、保険料や税金について「これ以上の負担は耐えられない」が77%を占めています。日本共産党は、昨年11月、国と都道府県の公費負担を1兆円ふやし、「協会けんぽ」なみの保険料に引き下げる提案を発表。財源は、大企業や富裕層に応分の負担を求めることで十分つくれます。

区長申し入れでは、提言をもとに「国に均等割を廃止し国保料負担を協会けんぽ並みに引き下げ、そのための公費投入を求めること。東京都にさらなる都独自の財政支出を求めること」、区として「あらゆる努力を行い、国保料を値上げせず引き下げること。区独自の子ども均等割り軽減、保険料算定についての情報提供、差し押さえなど強権的な取り立ての中止。都立大塚病院の独立行政法人化に反対すること」を求めました。

意見の分かれた主な議案

○は可決に賛成 ×は可決に反対

件名	会派等								結果
	区自 民議 党 豊島 区	公 明 党	日 本 共 産 党	民 主 ネ ット	の 都 民 フ ア ー ス ト し ま	刷 新 の 会	無 所 属 元 氣 の 会	虹 と し ま	
豊島区印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	×	○	可決
電気バスの買入れについて	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
豊島区立芸術文化劇場の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
池袋西口公園改修整備工事請負契約について	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書に係る陳情	継続に 賛成	継続に 賛成	継続に 反対	継続に 反対	継続に 賛成	継続に 反対	継続に 反対	継続に 反対	継続 審査
豊島区にコミュニティバスを走らせることを求める陳情	継続に 賛成	継続に 賛成	継続に 反対	継続に 賛成	継続に 賛成	継続に 反対	継続に 反対	継続に 賛成	継続 審査



かきうち 信行
☎3950-3675



小林 ひろみ
☎3955-8244



森 とおる
☎6912-0135



儀武 さとる
☎3918-9458



渡辺 くみ子
☎3971-1950



清水 みちこ
☎6912-8679